

有機農業推進総合対策事業のうち  
国産有機農産物等需要拡大支援事業

事業実施計画書

事業実施年度： 年度

事業実施主体名：

第1 事業の概要

1 事業実施体制の概要

(1) 事業実施主体の概要

事業実施 主体名					(フリガナ) 代表者氏名	代表者の所属 組織の名称			
事業実施主体事務局が所在する住所				〒					
事務局 連絡先	事業 担当者	役職・氏名・年齢							
		電話番号		メールアドレス					
	経理 担当者	役職・氏名・年齢							
		電話番号		メールアドレス					
構 成 員	所属・役職		氏名	分類	所属・役職		氏名	分類	
過去の国の補助事業の 取組状況									
構成員が過去に行った有機農業や 有機食品をテーマとした イベント等の開催実績									
構成員が過去に行った有機農業に 関するリーフレット、ポスターを 作成した実績									

注1: 事業実施主体の推進体制の分かる資料を添付すること。

- 2: 事業実施主体の構成員の分類の欄に、「学識経験者」、「生産者」、「食品製造事業者」、「流通業者」、「有機JAS検査員資格保有者」、「有機JAS認証(加工)事業者」などの分類を記入すること。
- 3: 過去の国の補助事業の取組状況の欄に、事業実施主体及び事業実施主体を構成する一部において、過去3カ年間に取り組んだ補助事業の「名称」、「事業実施年度」及び「事業内容」を記入すること。なお、実施したことがない場合には「該当無し」と記入すること。
- 4: 構成員が過去に行った有機農業や有機食品をテーマとしたイベント等の開催実績の欄に、開催者氏名、イベントの名称、内容、参加者数等について記入すること。
- 5: 構成員が過去に行った有機農業に関するリーフレット、ポスターを作成した実績の欄に、作成したコンテンツの内容、配布者数等について記入すること。

## (2) 事業実施主体以外の関係者・関係団体

関係者	所属・役職・団体名	氏名(団体の場合は代表者氏名)	役割	所属・役職・団体名	氏名(団体の場合は代表者氏名)	役割

注1: 事業実施主体以外の組織や者に一部業務を委託する場合等に記述すること。

- 2: 役割の欄には、事業実施主体との関係が分かるように記入すること。

## 第2 事業の実施方針

### 1 事業実施における課題

--

注: 事業実施における課題の欄には、本事業を実施する背景や解決に向けて取り組む課題を記入すること。

## 2 成果目標

成果目標	
成果目標の具体的な内容	
事後評価の検証方法	

注1: 成果目標の欄には、別紙Ⅲ第4に基づき、事業実施主体が自ら設定した成果目標を記入すること。

2: 成果目標の具体的な内容の欄には、成果目標ごとの目標達成に向けた取組内容、取組回数等を記入すること。

## 3 事業実施方針

--

注: 事業実施方針の欄には、1の課題解決や2の成果目標達成のため、どのような方針で本事業を実施するか具体的に記入すること。

## 第3 事業の内容

### 1 国産有機サポーターズと連携した国産有機農産物等の消費者需要喚起

#### (1) ワークショップの開催

開催時期	開催場所	規模 (参加人数) (人)	取 組 内 容	サポーターズとの連携、注目度を高める工夫	備考
年 月					
年 月					
計		0			

注1: 取組内容の欄には、内容、周知方法、見込む効果、「有機農業の日」に関連した企画等について具体的に記入すること。

2: サポーターズとの連携、注目度を高める工夫の欄には、国産有機サポーターズとの連携策や消費者参加型の催しなど注目度を高める工夫の内容などを記入すること。

3: 適宜、行を追加して記入すること。

(2) 展示会・イベントへの出展

出展する展示会・イベントの名称	時期	規模 (来場人数) (人)	出展内容	備考
	年 月			
	年 月			
計		0		

注1: 出展内容の欄には、内容、周知方法、見込む効果等について具体的に記入すること。

2: 適宜、行を追加して記入すること。

2 有機農業の環境保全効果発信

(1) 消費者を対象とした有機農業の環境保全効果について訴求するセミナーの開催

実施時期	開催場所	講師	規模 (参加人数) (人)	セミナー内容	備考
年 月					
年 月					
計			0		

注1: セミナー内容の欄には、セミナーの内容、参集範囲、参加者の募集方法、見込む効果等について具体的に記入すること。

2: 適宜、行を追加して記入すること。

(2) 有機農業の環境保全効果について消費者に訴求するためのコンテンツ(リーフレット、ポスター等)の作成

コンテンツの名称	作成時期	配布数	内容	備考
	年 月			
	年 月			
計		0		

注1: 内容の欄には、作成するリーフレット、ポスター等の内容、普及方法、見込む効果等について具体的に記入すること。

2: 適宜、行を追加して記入すること。

### 3 生産者と事業者とのマッチング促進

(1) 有機農産物等の生産者と、有機農産物等の取引を希望又は検討する小売事業者、外食事業者及び中食事業者とのマッチングを促進する商談会の開催

実施時期	開催場所	取組内容	備考
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			

注1: 取組内容の欄には、取組のねらい、取組の内容、見込まれる効果、マッチングを効率的・効果的に行う工夫等について具体的に記入すること。

2: 適宜、行を追加して記入すること。

(2) 外食事業者及び中食事業者における有機農産物等の利用に関する取組内容を取りまとめた事例集の作成

資料の種類	作成する資料の具体的な内容	備考

注1: 資料の種類には、作成する資料の種類(チラシ、パンフレット等)を記入すること。

2: 作成する資料の具体的な内容には、構成案や資料のボリューム等について、可能な範囲で記入すること。

3: 適宜、行を追加して記入すること。

### 4 取組の情報発信

情報発信に使用するツール	具体的な周知の方法	備考

注1: 情報発信に使用するツール欄には、情報を掲載する場所(ホームページ、SNS等)について記入すること。

2: 具体的な周知の方法の欄には、消費者がホームページやSNSに掲載している情報に触れる機会を増加させるための方法や情報発信の回数等について具体的に記入すること。

3: 適宜、行を追加して記入すること。

5 事業全体の実施スケジュール

事業の実施時期	取組項目	本事業の活用	事業の内容
月			
月			
月			
月			
月			
月			

注1:本事業の活用の欄は、取組のうち本事業を活用する場合には「○」を、本事業を活用しない取組には「×」を記入すること。

2:適宜、行を追加して記入すること。

6 事業完了予定(又は完了)                      年      月      日

第4 添付資料

- (1) 事業実施主体の組織及び運営についての規約(定款)等写し、財務諸表(又は収支予算書、収支決算書等)
- (2) 事業の実施経費に係る見積書、カタログ等の写し、謝金(又は賃金)の根拠資料
- (3) 本事業の一部を外部へ委託する場合は、その委託契約書(案)(又は写し)
- (4) その他、農産局長が必要と認める資料

【別紙】事業実施経費

(1)経費の配分及び負担区分

区 分	事業費 (円) ①=②+③+④	負 担 区 分 (円)			総事業費に占める 国庫負担金の割合 ②/①	備 考
		国庫負担金 ②	自己資金 ③	その他 ④		
国産有機農産物等需要拡大支援事業					0%	

注:「備考」の欄は、仕入れに係る消費税等相当額について、これを減額した場合には「除税額〇〇〇円、うち国費〇〇円」を、同税額がない場合には「該当なし」と、同税額が明らかでない場合には「含税額」とそれぞれ記載するとともに、同税額を減額した場合には合計の欄の備考の欄に合計額(「除税額〇〇〇円、うち国費〇〇円」)を記入すること。

(2)事業費の内訳

事業内容	費目	細目	実施計画			実績報告	備考
			単価(円) ①	員数 ② (人数、回数等)	事業費 金額(円)(①×②)	事業費(円)	
国産有機サポーターズと連携した国産有機農産物等の消費者需要喚起							
	計					0円	0円
有機農業の環境保全効果発信							
	計					0円	0円

生産者と事業者とのマッチング促進							
計					0円	0円	
取組の情報発信							
計					0円	0円	
総計					0円	0円	

注1: 交付等要綱別表2(補助対象経費の範囲)の費目、細目ごとに記入すること。

2: 「備考欄」は、単価、員数等の根拠を具体的に記入すること。

3: 経費算定の根拠とした資料(見積書等の写し)を添付すること。

4: 適宜、行を追加して記入すること。

